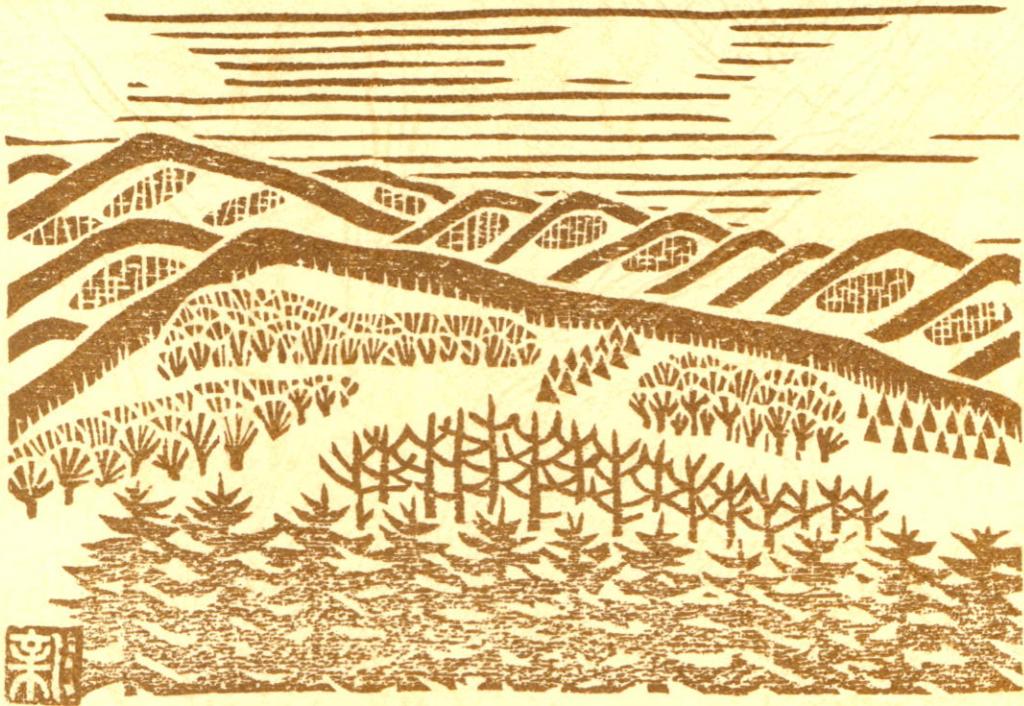


I S S N - 1 3 4 0 - 7 3 6 8

(社)日本雪氷学会北海道支部機関誌

# 北海道の雪氷

第19号



2000年8月

発行 (社)日本雪氷学会北海道支部

## 目次

巻頭言	1
2000年度研究発表会講演要旨	2
1999年度事業報告	64
1999年度会計報告	68
2000年度事業計画	71
2000年度会計計画	73
2000年度北海道支部役員名簿	74
日本雪氷学会と道内関係機関のホームページ	75
社団法人日本雪氷学会北海道支部規約	76

(表紙 画：齊藤新一郎、題字：福沢卓也)

## 巻頭言

## 支部長に就くにあたって

福田 正己(北海道大学低温科学研究所)

平成12年度より北海道支部長を務めるにあたり、感想の言葉を述べたいと思います。今年の中谷宇吉郎博士生誕100年にあたり、秋には記念の学術大会は縁の地、加賀市で開催されます。また、関連して北広島市においても展示会が予定されています。その活動拠点であった北海道大学ではとくに関連する企画はありませんが、中谷先生の仕事をまとめた叢書も企画中とのことです。最近、中谷先生が1952年に米国の雪氷凍土研究所(SIPRE; Snow Ice and Permafrost Establishment 後に寒地工学研究所 CRREL Cold Regions Research Engineering Laboratory)に招聘された時の所長であった、ウオシュボーン博士と会う機会がありました。89歳の高齢にもかかわらず豊饒としてお元気で、中谷先生の昔話を聞かせて頂きました。SIPREでは、中谷先生は雪・氷・凍土と幅広い分野での仕事をされており、ウオシュボーン先生もその守備範囲の広さに驚いたと話していました。翻って今の雪氷学の動向を見るに、少し専門が細分化してきたようにも思えます。またSIPREが工学的な応用を強く意識した研究機関であったため、雪氷学の工学への応用が重要視されました。

こうした雪氷学に関わる人々の視野の広さと基礎的理学と応用的工学との結びつきが、中谷先生が活躍したSIPREの研究の特徴でした。たとえば、氷河研究の第一人者であるアラスカ大学地球物理研究所のカールベンソン博士は、SIPREで氷床上に滑走路を造成する仕事が、雪氷学への初めての関わりであったと述べています。こうした、1950年代の米国における雪氷研究の中心であったSIPREで、中谷先生はのびのびと研究を進められたのです。雪氷学は基礎と応用との境界にある学際的な研究分野です。そこで、地域に根ざした様々な問題に対処しつつ、研究の進展をはかることが望まれています。北海道支部では、こうした雪氷学の研究を推進し、また実践する上での重要な場として、これからも大いに研究交流を図って行くべきであると考えています。

中谷先生の業績に関わって、もう1つ重要な示唆は、知り得た事柄をわかりやすく一般に紹介することの大切さです。筆まめに多くのエッセイを中谷先生は残されました。それらは、雪氷学に関わる事柄をわかりやすく解説し、それによって一般の方々の雪氷学への理解が深まりました。こうした努力を怠ってしまうと、雪氷学は狭い学問領域に萎縮してしまい、今後の進展も望めません。そこで支部としても、11月には公開シンポジウムを旭川で開催しますが、学会員各位もこのシンポジウムに多数参加されることを希望します。周辺の方々にもお声をかけて参加を呼びかけ下さい。

最後に支部の今後の活動では、北海道ならではの、ユニークな課題を探し、広く会員の方々に参画して頂けるように致したいと思います。たとえば、北ユーラシア地域との研究交流など。皆様からのご意見を是非お聞かせ下さい。

# (社)日本雪氷学会北海道支部 2000 年度研究発表会 講演要旨

日 時：2000 年 6 月 13 日 (火) 13:00~17:40  
場 所：北海道大学学術交流会館 第 1 会議室

13:00~14:20 座長 伊東敏幸 (北海道工業大学)	頁
1: 捻回楕円電線およびスパイラルロッド巻き付け電線の着氷雪特性 ○大浦久到・守護雅富・岡本 誠 (北海道電力)、菅原宣義 (北見工大)	… 3
2: 廃タイヤパウダー混合土の熱伝導特性について ○金 學三・福田正己 (北大低温研)	… 7
3: 様々な森林における積雪調査 ○西川大輔・山田知充 (北大低温研)	… 10
4: 北見における気象・積雪断面観測 (1999-2000) の概要 ○八久保晶弘 (北見工大)、青木輝夫 (気象研究所)、榎本浩之 (北見工大)	… 14
5: MRI による積雪 3 次元構造の可視化 尾関俊浩 (船舶技術研究所)、○八久保晶弘 (北見工大) 巨瀬勝美 (筑波大・理工工学系)、中坪俊一・西村浩一 (北大低温研)	… 18
<hr/>	
14:30~16:00 座長 金田安弘 (北海道開発技術センター)	
6: 融雪水の水質変動の長期観測 ○山崎 学・石井吉之・小林大二 (北大低温研)、柴田英昭・小澤 恵 (北大演習林)	… 21
7: 氷・氷摩擦係数の垂直応力依存性 ○水上直己・前野紀一 (北大低温研)	… 25
8: 冬の春志内トンネルにおける路面状況と摩擦係数 ○永田泰浩・竹内政夫・丹治和博 (日本気象協会北海道本部)、萩原 亨 (北大工)	… 29
9: 道路防雪林の防雪機能に関する検討 (第 1 報) ○広瀬哲司・福沢義文・加治屋安彦 (北海道開発局開発土木研究所) 丹治和博・斎藤勝也 (日本気象協会北海道本部)	… 33
10: 高速道路の防雪林の成長経過および今後の保育対策について — 三笠市萱野地区の 1 事例 — ○斎藤新一郎 (専修大学北海道短大)、平泉 清 (日本道路公団岩見沢管理事務所)	… 37
11: 間伐木を用いた仮設防雪林の諸機能について ○斎藤新一郎 (専修大学北海道短大)、平泉 清 (日本道路公団岩見沢管理事務所) 鳥田宏行 (北海道立林業試験場)	… 41
<hr/>	
16:10~17:40 座長 藤井雅晴 (札幌総合情報センター)	
12: 十勝地方における豪雪による農業施設の被害状況 ○細川和彦・苫米地司 (道工大)	… 45
13: 道道鹿追線平線で発生した雪崩 (2000.3.5、4.6) 調査報告 ○山田高嗣・小椋崇広・今西伸行・Jim McElwaine・山田知充 (北大低温研)、 永崎智晴 (新潟大災害研)	… 47
14: 国道における雪崩災害事例 ○大槻政哉・竹内政夫 (日本気象協会北海道本部)	… 51
15: 冬期マイカー通勤者モニター実験 ○中村直久・加治屋安彦・松澤 勝 (北海道開発局開発土木研究所) 金田安弘・伊藤信之 (北海道開発技術センター)	… 55
16: 水雲内での雪結晶成長に関する実験的研究 — 取り巻く雲粒による成長の促進 — ○高橋庸哉 (北教大・教育実践総合センター)、遠藤辰雄 (北大低温研)	… 58
17: 盆地冷却層解消の季節特性 ○岩倉 徹・兒玉裕二 (北大低温研)、田中夕美子 (北大演習林)、 岡田啓嗣 (北大農)、石川信敬 (北大低温研)	… 60